

平成 30 年度 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会 議事概要

○日時：平成 31 年 3 月 19 日（火） 15:00～17:00

○場所：結とびあ 201、202 会議室

○議事：(1) 平成 29 年度 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会 議事概要
(2) 平成 30 年度の取り組み状況
(3) これからの水源地域ビジョンについて

1. 平成 29 年度 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会 議事概要について

平成 29 年度 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会 議事概要については、ホームページにも公開していることを委員長より説明を行った。

2. 平成 30 年度の取り組み状況について

平成 30 年度の取り組み状況について事務局が説明を行い、各機関が補足した。主な質疑応答及び意見は以下のとおりである。

(関係団体)

- ・ カヌー体験は、平成 29 年に試行し、30 年から運用を始めており、春、夏、秋に実施した。「ふくのね」に掲載したことで、若いカップルや年配の夫婦、県外の方など、これまで関係のなかった人の参加もあった。
 - ・ (野尻公園は) 元々は水辺利用の場ではないため、湖面に降りられるように整備出来たら良い。
 - ・ 地元の人であれば車で簡単に来られるが、県外の人だと来ること自体が大変なので、公共交通機関の利用も含め交通手段の利用を進めたい。
- (委員長) 長年ビジョンに関した様々な取り組みをしていただいているが、連携やネットワークについてはどういった状況か。
- (関係団体) 九頭竜川ダム統合管理事務所には、カヌーを置かせてもらったり、トイレを借りたりと協力いただいている。また、和泉支所さんの方にもご理解ご協力いただいているところである。

(関係団体)

- ・ 釣り大会の開催など、活動が実際に活発化した年となった。
- ・ 九頭竜湖はフィールドとしては非常によい場所と思う。コクチバスなど邪魔な魚もいるが、トラウトやイワナ、アマゴなども沢山いる。コクチバスは食べるとおいしいので広く活用していきたい。
- ・ ビジョンの委員の方々にも協力していただきながら取り組みを進めるとともに、夢も語っていきたい。

(関係団体)

- ・ 利活用ミーティングでミズベリングなどを話し合う中で、ツアーの実施を考えるようになった。前々から九頭竜湖駅より先に行けないという人が沢山いるということがあり、どうしたらよいかを考えてもいたため、紅葉のシーズンに試してみようということになった。
- ・ ツアー初日は30名のマイクロバスで行ったが、事前予約で満席だったことに加え、駅で乗車を希望する人もあったため、2回目からは大型バスに切り替えるほど盛況だった。
- ・ 夢のかけはし周辺は観光客でいっぱいだった。紅葉はどこでも見られるが、紅葉とダムとの組み合わせはまた別の魅力があるのだろうと思う。
- ・ ツアーは車で来られない人向けと考えている。トイレや昼食など、課題を解決しながら来年度以降も開催を考えたい。

(委員長)

- ・ トイレの問題は、人を迎える環境として解決しなければならないものである。来年度以降のビジョン委員会の課題であろう。

(関係団体)

- ・ 笹生川ダム見学会は、森と湖に親しむ旬間が開催されなかったため、秋に実施したものである。
- ・ 職員限定ではあったが、雲川ダムの見学を開催したり、北陸電力さんにも協力いただき、発電所を見学したりした。他ダム等とも協力しながら見学会の受け入れも充実させていきたい。
- ・ 今後は説明パネルのリニューアルなども考えている。

(関係団体)

- ・ 資料を見ていると、子供が参加している写真が多くある。昨今はテレビゲームなどで室内遊びばかりになってしまっている中で、自然体験などいろいろなところで受け入れて頂いており非常に感謝している。

(副委員長)

- ・ カヌー協会の理事長もしているが、国体ではカヌー競技の開催に電源開発様をはじめダムの協力をいただき感謝している。トップ選手にも稀に見るよいコースだったと言ってもらえた。
- ・ コース自体は現況復旧してしまったが、カヌー教室などはこれからもみなさんの協力をいただきながら続けて行けるとよい。

3. これからの水源地域ビジョンについて

これからの水源地域ビジョンについて事務局より説明を行った。主な質疑応答及び意見は以下の通りである。

(関係団体)

- ・ ダムサイトで活動する場合、トイレが一番課題となる。幾つか設置できないか。
- ・ 杉や桜が大きくなりすぎて、かつて絶景だった場所がそうではなくなっている。伐採などできるとよい。

(委員長)

- ・ トイレは簡易的なものでも良いのか、常設をイメージしているか。
- (関係団体) 常設であればよいが、シーズン中だけの簡易トイレという考えもある。
- (事務局) 難しい問題ではあるが、今後みなさんと協議していきたい。
- (委員長) 具体的な設置場所の候補はあるか。
- (関係団体) みんなで実際に巡りながら検討できるとよい。またベンチもあると良い。

(関係団体)

- ・ ミズベリングは鳴鹿大堰で開催したのが第1回で、この時は福井放送局に働きかけた。また、えちぜん鉄道の駅から鳴鹿大堰間は町がシャトルバスを出してくれるなどした。和泉地区でも、JRや大野市と協力してシャトルバスを出すなどが必要になってくると思う。
- ・ ミズベリングは準備が大切。成功させるには早めの広報を充実させる必要がある。7月に開催するのであれば、4月には準備を始めるべき。
- ・ ダム見学については、足羽川ダムの工事現場見学や真名川ダム、九頭竜ダムのカードを子供たちと集めようというツアーを開催したが人気があった。
- ・ 育てたドングリの苗木を笹生川ダムの川沿いに植えているが、根付きが悪い。シカに芽を食べられたり、大雪の影響もあるかもしれないが、近年特に根付きが悪いため土壌が良くない可能性もある。反省と研究をしながら今後の植樹活動に繋げていきたい。

(関係団体)

- ・ 平成31年10月に大野市で商工会議所青年部の近畿ブロック大会が開催される。全国から約2,000人が集まる予定である。前々からご相談させていただいているところではあるが、ダム見学や水辺のイベントを実施したいと考えているためご支援ご協力を改めてお願いしたい。

(副委員長)

- ・ トイレの問題は切実なものだと思う。観光事業に資するためにもぜひ解決してもらいたい。
- ・ 今年度新しい取り組みがなされたことは非常に良いことであるが、横のつながりを強化できるとイベントも更に盛り上がっていくのではないかな。

(関係団体)

- ・ 川遊びや大野市と環境塾をやるなど協力させてもらっているが、カヌーは自営で運営している。広報を充実させるために大判ポスターを作成しているので、可能であれば公共施設等にも掲載してもらえると嬉しい。
- ・ 自分たちみたいな活動も生業として自営できるということをPRできれば、若者の呼び込みにもつながると思う。

4. その他

(1) 委員長まとめ

- ・ 公共交通やシャトルバスとの連携、トイレの問題についてなど意見をいただいた。
- ・ イベントを進めるにあたって周知徹底は必要である。水源地域ビジョンのHPも上手く活用してもらえるとよいのではないか。
- ・ 子どもとのネットワークや様々な団体とのネットワークによって活動が活発化する、周知徹底も実現することになる。いかに協力、連携していくかが来年度に向けての重要な課題になるのではないか。

(2) 大野市長あいさつ

- ・ 平成30年度の取り組みで多くの取り組みを実施いただいたこと、来年度に向けた前向きな意見交換をいただいたことに感謝したい。個人的には真名川ダムと九頭竜ダムの2つビジョンを1つにまとめる際に、関わっていた経緯もあり、非常に感謝している。
- ・ ダムが元々設置された目的は治水・利水であり、そこを基本とし、国交省にもご協力いただいている。ダムがあることで昨年大雨の際にも安心して大野市に留まることができた。
- ・ 暑い夏や雪が少ない冬などに地下水が低下することがあっても、農業用水などについてはダムがあることで水不足になることもなかった。こういった効果に加え、地域資源としてダムを活用していこうということで水源地域ビジョンができたと考えている。
- ・ 真名川ダムは森づくり、九頭竜ダムは観光・地域活性化が盛んで、良い方向に進んでいると感じた。横のつながりを持ってできたらありがたい。
- ・ 中部縦貫自動車道の開通、新幹線の開通が目前に迫っている今、皆さんの活動は力強く、前向きだと感じている。
- ・ 観光を長続きさせようと思うと、楽しむだけでなく、稼ぐという視点も必要となる。
- ・ 悩みとなっているトイレや交通手段、あるいはイベントそのものについてもみなさんのご協力を得ながら、また元気を頂きながら長続きさせていくことができないかと市でも考えているところである。
- ・ 引き続きご協力、情報交換をお願いしたい。

5. 閉会

以上